挑戦者本人が語るイノベーションへの挑戦

2024年度 後期「イノベーションフォーラム 」

― 急速に進む AI/IoT などDXとGXの本格化、科学技術本流の画期的変化、求められる人間性と独自の文化・価値観・美意識の回復 ―

※ 本フォーラムが発足以来求めて来たのは、“感動的出会い”と“本質と原点に立ち返って考える”、そして“夢とヴィジョンを語り合える”機会と場の創出です。
※ ご都合により、ZOOM によるオンラインでのご参加が可能です。

と き・講 師	ご 依 頼 テ ー マ ・ 概 要

1

2024年
8/27
（火）

岡林 理（おかも）氏
レーザーテック（株）
代表取締役 会長（前社長）

『レーザーテックのビジョン、半導体欠陥検査装置一筋の夢と苦闘』

第一部 ご講演：岡林理（おかも）氏
第二部 パネルディスカッション
「日本製造業再生のカギ」

栗原権右衛門氏

レーザーテック(株) 会 長 岡林理氏（前社長）
日本電子(株) 相談役 栗原権右衛門氏（前会長）
元本田技研工業(株) 副社長 入交昭一郎氏
元セガ・エンタープライゼス 社長

レーザーテックはEUV光源搭載のアクティニックEUVパターンマスク欠陥検査装置とEUVマスクブランクス検査装置で世界シェア100%のファブライト企業。1976年、世界初のLSIフォトマスク自動欠陥検査装置を開発。日本電子は技術力、売上共に世界TOPの電子顕微鏡メーカー。生体立体分子構造を得るクライオ電子顕微鏡を世に送れる世界二社の一社。

レーザーテックの成長を牽引する主力製品
アクティニックEUVパターンマスク欠陥検査装置

ACTISに搭載する自社開発光源
高輝度EUVプラズマ光源「URASHIMA」

©レーザーテック

2

9/19
（木）

東 哲郎氏
Rapidus（株）
取締役 会長
前東京エレクトロン（株）代表取締役会長

世界半導体産業の主役復活への挑戦

『線幅40ナノから2ナノへ、日本半導体産業の復活に挑む』

ラピダスは世界最先端半導体の国産化、日本半導体産業の復活に挑む、今日本が国を上げて支援する国策企業。現在、最先端半導体の線幅は3nm。この量産技術を持つのはTSMCとサムスン。日本の実力は40ナノ。2022年、ラピダスはこのAI時代の2ナノ半導体量産技術を確立したIBMと提携。2025年、北海道千歳に新設の世界最先端半導体工場で生産開始する。2022年以来の国の累計総支援額は最大9200億円。出資企業はソニー、トヨタ自動車、デンソー、キオクシア、NTT、NEC、ソフトバンク、三菱UFJ。今回、Rapidus社 東会長ご自身にその決意とご抱負を伺う。

北海道千歳市に建設予定の半導体工場
完成イメージ

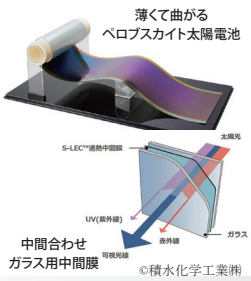
3

10/2
（水）

加藤 敬太氏
積水化学工業（株）
代表取締役 社長

『イノベーションによる社会課題解決への貢献を目指す積水化学の企業経営』

私たちは創業以来、イノベーションによる社会課題解決への貢献を以て成長、数々の世界初・日本発の製品を送り出し、日本・世界共にシェアトップ製品を多数生み出してきました。例えば、世界シェアトップの合わせガラス用中間膜、ペロブスカイト太陽電池、バイオリファイナリーや細胞培養足場材などの技術がこれに当ります。今日の積水の環境経営、エコロジーとエコノミーの両立、現在のESG経営へとつながる経営方針の根底には、イノベーションによる社会課題解決型の製品拡大こそ、持続的成長達成の原動力と、強い覚悟で邁進しています。（加藤敬太氏）



©積水化学工業㈱

4

11/14(木)

※ JAXA 相模原キャンパス内
宇宙科学探査交流棟 見学
（神奈川県相模原市中央区由野台 3-1-1）
ご講演会場は JAXA 裏手：
（独）国民生活センター会議室

坂井 真一郎氏
JAXA 宇宙科学研究所
宇宙機応用工学研究系 教授
SLIM プロジェクトマネージャー

『小型月面着陸実証機SLIMの月着陸成功とその道程』

小型月着陸実証機「SLIM」は、月着陸精度の大幅な向上（数km～10数kmから100mへ）及び探査機の小型軽量化技術の実証を目的としたプロジェクトで、2024年1月20日、世界初となる月面ピンポイント着陸に成功した。これは従来の「降りやすいところに降りる」探査から「降りたいところに降りる」探査への道を拓いたもので、実際、着陸後に行った科学観測は、目標至近に着陸して初めて可能となったものだった。着陸直前に分離した２機の超小型ローバは、自律的に連携して歴史的な一枚の写真を届けてくれた。これらの成果とそこに至る道程についてご紹介したいと思っている。（坂井真一郎氏）

©JAXA

SORA-Q
JAXA / タカラトミー / ソニーグループ㈱ / 同支社大学 共同開発

5

12/10
（火）

太田 智浩氏
パナソニックホールディングス（株）
プロダクト解析センター
デバイス・空間ソリューション部 部長

『新たな価値を創出するシミュレーションと設計AI』

温暖化対策のパリ協定やSDGsなど、環境問題は重点課題である。又、国が目指すべき未来社会としてサイバーとフィジカル空間を高度に融合させ、人間中心の社会であるSociety5.0を提唱している。これら背景の下、当社では「地球環境問題の解決」と「一人ひとりの生涯の健康・安全・快適」の領域において研究開発を重点的に取り組んでおり、シミュレーションはコア技術の１つとなっている。シミュレーションの開発事例と、勘や経験だけに頼らない設計AIとの取り組み、そして課題や今後への期待などについてお話したい。（太田智浩氏）

パナソニック
ラムダッシュPRO

©パナソニック
ホールディングス

リニアシェーバ搭載の
独自開発リニアモータ

6

2025年
1/23
（木）

豊田 正嗣氏
埼玉大学 教授
理工学研究科 生命科学部門
理学部 分子生物学科

『ミステリアスな驚くべき植物の世界』

― 植物の驚くべき記憶力と情報伝達力、匂いなども感知している植物たち ―

道端の草花。畑の野菜。雨に打たれても虫にかじられても何も感じていないように見える。が、実はそうではない。植物に神経や脳はないが、傷つけられたことを感じ、瞬時にその情報を全身に伝えることが出来る。更に植物は傷つけられた細胞や組織から匂いを大気中に放出し、別の離れた個体に危険信号を送ることが出来る。近年、バイオセンサーなどイメージング技術の躍進で、植物の知られざるコミュニケーション能力、姿が見えてきた。その植物の驚くべき映像と共に、その実態をご紹介したい。（豊田征嗣氏）氏は当初物理学を専攻。後に「心や感情も遺伝するか」という衝撃的テーマに出会って生物学に目覚め、博士課程で医学部に転属。縁あって植物研究室にも所属したという。

植物の全身を高速で流れる
Ca2+シグナルを捉えた映像
©豊田正嗣氏

植物の反応をリアルタイムで可視化
するための独自のイメージング装置

チェアマン

入交 昭一郎 氏
(有)入交昭一郎 代表
元本田技研工業㈱ 取締役 副社長
元㈱セガ・エンタープライゼス 代表取締役 社長・会長

◆毎回の基本スケジュール

13:30～14:00 参加者自己紹介
14:00～15:00 講演（前半）
15:00～15:15 コーヒーブレイク
15:15～16:15 講演（後半）
16:15～17:00 Q & A

◆リアルミーティング主会場

（公財）国際文化会館
東京都港区六本木5-11-16
03-3470-4611
https://www.i-house.or.jp/

◎ 毎回、詳細のご案内をほぼ1ヶ月前にお届けします。
◎ オンラインご参加の場合、ZoomURLをお届けします。

新経営研究会
https://www.shinkeiken.com